

かん水同時施肥技術導入による露地きゅうりの増収

【1 成果の概要】

陸前高田市における実証事例では、以下の技術導入により慣行に比べ収量が27～93%増加し、試算した結果、農業所得が394～597千円/10a増加しました。

- (1) かん水同時施肥技術：マルチ内に点滴チューブを設置しベンチュリー式アスピレーター（水流による吸入装置）により液肥を混入してかん水と同時に施肥を行います。
- (2) 葉数増加量に基づく肥培管理：14日おきの葉数増加量に基づき下式により追肥量を決めます。

$$[\text{窒素施肥量}(\text{g}/\text{m}^2/14 \text{日}) = \text{葉の増加枚数}(\text{枚}/\text{m}^2/14 \text{日}) \times 0.0441 + 2.189]$$

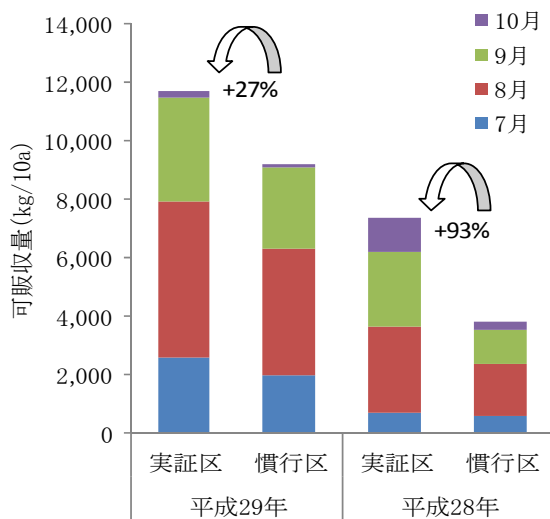
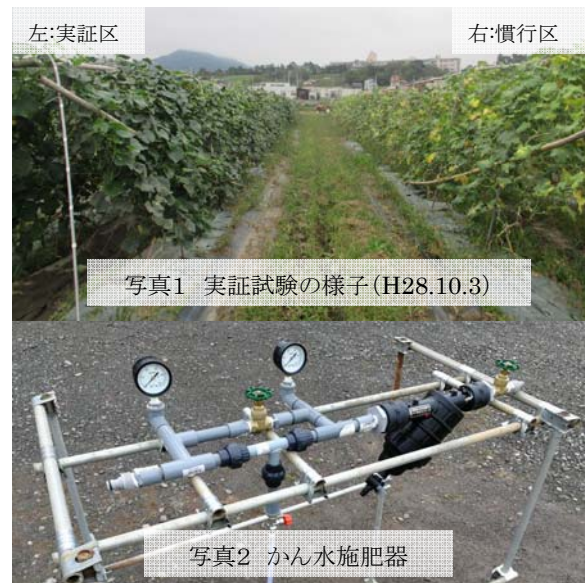


図1 技術導入による月別可販収量



【2 効果】

実証試験について試算した結果、農業所得が394～597千円/10a増加しました。

【3 留意事項】

- (1) 本実証で用いたかん水同時施肥器は市販の簡易な部材を使い組み立てています（「キュウリかん水同時施肥マニュアル」参照）。
- (2) 主要資材
 - ・点滴チューブ：「ストリームライン80」（20cmピッチ）
 - ・液肥：「くみあい液肥2号」（10-4-8）
- (3) かん水同時施肥技術導入に際しては、露地栽培であっても定期的な土壌診断等により適切な状態かどうかを確認することをお勧めします。

表1 実証試験経済性試算

単位：千円/10a

	H29		H28	
	実証区	慣行区	実証区	慣行区
A:販売額	3,176	2,503	1,908	939
種苗費	154	154	100	100
肥料費	28	37	32	52
農薬費	57	57	57	57
光熱動力費	21	12	23	12
諸材料費・小農具費	118	72	118	72
流通経費	1,101	867	667	332
農業機械・農業施設費	335	335	117	117
B:費用計	1,814	1,534	1,113	740
C=A-B:農業所得	1,363	969	796	199
所得増加額(実証-慣行)	394	—	597	—

担当研究室 技術部 野菜花き研究室

〒024-0004 北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4420 FAX. 0197-68-2361